

このニュースレターは、国土交通省が提案している羽田空港の国際線増便について、地域の皆さまとのコミュニケーションの状況を広くお知らせするために発行しています。

開催日を増やして フェーズ5の説明会が始まります



国土交通省では、日本の豊かな暮らしを将来の世代に引き継ぐため、2020年の羽田空港国際線増便の実現に向け、準備が進められています。その具体化を進めるにあたっては、まず、その必要性や実現方策についてできる限り多くの方々に知っていただくため、2015年より、今回提案の背景、音の聞こえ方、環境や安全確保などの課題に対し、どのような対策が取り得るか等の情報提供が行われてきました。

2016年7月には、これまでの課題整理や自治体意見を踏まえた上で、飛行経路の見直し以外の方策が見当たらないことの認識を含め、羽田空港の国際線増便の必要性について改めて関係自治体との間で共有認識が確認され、できるだけ影響を小さくする実現方策として「環境影響等に配慮した方策」が公表されました。

2018年3月には、世界的にも類をみない落下物防止対策基準の策定、補償等の充実を主な内容とする「落下物対策総合パッケージ」がとりまとめられ、今年度中に日本に乗り入れる全ての航空事業者に落下物対策の義務付けを規定するなど、落下物防止のための対策も進められています。

引き続き、皆さまにより多くの参加機会を設け、寄せられたご意見や質問、期待等に対してお答えする説明会が、2018年12月～2019年2月に首都圏31会場で開催されます。今回のフェーズ5では、これまでより開催日を拡大。各市区で週末と平日で2回開催されます。

寄せられた関心事・疑問について お答えする場が設けられます



フェーズ5の説明会では、環境影響等に配慮した方策の検討状況のほか、皆さまから今までに寄せられた知りたいこと、疑問に思っていることについて、国土交通省の担当者から一人ひとりに詳しい説明が行われる予定です。また、説明会では、参加者からのご意見を引き続き募集することとしています。

◆フェーズ5 説明会日程

※詳細はホームページでご確認ください。なお、天候などの理由で開催日程が変更になる場合もあります

開催地	開催日	時間	会場
品川区	12/15(土)	13:00～17:00	品川シーサイドフォレスト
	12/17(月)	15:00～19:00	イトーヨーカドー大井町店
中野区	12/16(日)	13:00～17:00	なかのZERO西館
	12/18(火)	15:00～19:00	野方区民活動センター
北区	12/21(金)	15:00～19:00	赤羽北区民センター
	12/22(土)	13:00～17:00	北とびあ
豊島区	1/8(火)	15:00～19:00	豊島区役所本庁舎
	1/26(土)	13:00～17:00	南長崎第4区民集会室
板橋区	1/11(金)	15:00～19:00	成増アクトホール
	1/12(土)	13:00～17:00	セブントウン小豆沢
江東区	1/11(金)	15:00～19:00	南砂町ショッピングセンター SUNAMO
	1/13(日)	13:00～17:00	アリオ北砂
練馬区	1/12(土)	13:00～17:00	光が丘 IMA
	1/29(火)	15:00～19:00	練馬区役所
和光市	1/13(日)	13:00～17:00	和光市吹上コミュニティーセンター
	1/15(火)	15:00～19:00	和光市中央公民館
港区	1/18(金)	15:00～19:00	六本木ヒルズ
	1/19(土)	13:00～17:00	白金台いきいきプラザ
川口市	1/18(金)	15:00～19:00	キューボ・ラ
	1/19(土)	13:00～17:00	

◆フェーズ5 説明会日程

※詳細はホームページでご確認ください。なお、天候などの理由で開催日程が変更になる場合もあります

開催地	開催日	時間	会場
江戸川区	1 / 20(日)	13:00 ~ 17:00	タワーホール船堀
	1 / 21(月)	15:00 ~ 19:00	東大島駅小松川口コンコース
さいたま市	1 / 27(日)	13:00 ~ 17:00	サウスピア
	1 / 28(月)	15:00 ~ 19:00	
川崎市	2 / 1(金)	15:00 ~ 19:00	川崎区役所大師支所
	2 / 2(土)	13:00 ~ 17:00	殿町小学校体育館
新宿区	2 / 8(金)	15:00 ~ 19:00	新宿駅西口広場イベントコーナー
	2 / 9(土)	13:00 ~ 17:00	
朝霞市	2 / 8(金)	15:00 ~ 19:00	朝霞市産業文化センター
	2 / 9(土)	13:00 ~ 17:00	
大田区	2 / 11(月・祝)	13:00 ~ 17:00	京急蒲田駅改札口外コンコース
	2 / 12(火)	15:00 ~ 19:00	
目黒区	2 / 17(日)	13:00 ~ 17:00	田道住区センター三田分室
	2 / 18(月)	15:00 ~ 19:00	恵比寿ガーデンプレイス
渋谷区	2 / 22(金)	15:00 ~ 19:00	千駄ヶ谷社会教育館
	2 / 23(土)	13:00 ~ 17:00	地域交流センター恵比寿

情報発信拠点が
順次開設されています

羽田空港第1ターミナルに設置されている常設の情報発信拠点に加え、移動型の情報発信拠点が各市区にて順次開設されています。情報発信拠点では、動画やタブレット端末で羽田空港機能強化の取り組み状況に関する情報が確認できる他、離着陸機の音の体験ができます。開設場所や期間などはホームページをご覧ください。



北区に開設された情報発信拠点の様子
[平成30年8月19日(日)～8月25日(土)に開設]

現在進められている落下物対策について

● 2019年1月15日に本邦航空会社、同3月15日に外国航空会社に落下物防止対策基準を義務化。

未然防止策の徹底

事案発生時の対応強化

「落下物防止対策基準」の策定

本邦航空会社及び日本に乗り入れる外国航空会社に、落下物防止対策を義務付け



あらゆるチャネルを通じた未然防止策の徹底

- ① 対策事例をまとめた「落下物防止対策集」を作成
- ② 対策集を活用しつつ、外国当局・外国航空会社の理解も得て、「落下物防止対策基準」の遵守を含めた未然防止策を航空会社に徹底



駐機中の機体チェックの強化

- ① 外国航空機に対する検査の強化
 - 今後検査回数を増加する際に、成田、羽田を重点化
- ② 空港管理者による新たなチェック体制の構築

補償等の充実

- ① 救済制度（原因航空機を複数に推定可能な場合、その数に応じて按分補償する制度）の全国展開、及び加入の義務付けの検討。また、速やかな被害者救済を実現するため、空港運営者等による補償費の立替え。
- ② 落下物による被害等に対し、空港の運営者等から、被害の程度に応じた見舞金の給付

情報収集・分析の強化

- ① 全国の空港事務所等に対し、落下物情報の報告について再度徹底（警察にも協力依頼）
- ② 氷塊や部品の衝突実験により、衝撃度や破損状況等のデータを収集し、落下物認定等へ活用を検討
- ③ 氷塊付着状況調査の拡充等による落下物発生状況の分析強化
- ④ 外航社を含めた部品欠落の報告制度の拡充

航空会社に対する処分等の検討

落下物の原因者である航空会社（本邦社及び外航社）に対して処分等を行う方針。具体的な内容や手続きを検討中。

新飛行経路の見直しが検討されています



国際線増便の実現方策について

羽田空港は現在、深夜早朝の時間帯を除いて、フル稼働の状況です。さまざまな選択肢について技術的検討を行ったところ、羽田空港の国際線増便には、国際線のニーズが集中する時間帯において滑走路及び飛行経路を見直す以外の方策が見当たらない状況であり、下記のような飛行経路の見直しが必要とされています。

提案されている飛行経路について（深夜・早朝帯以外）

北風時（深夜・早朝時間帯以外） 運用の割合は約6割（年間平均）

7～11時半・15～19時（新たな飛行経路）

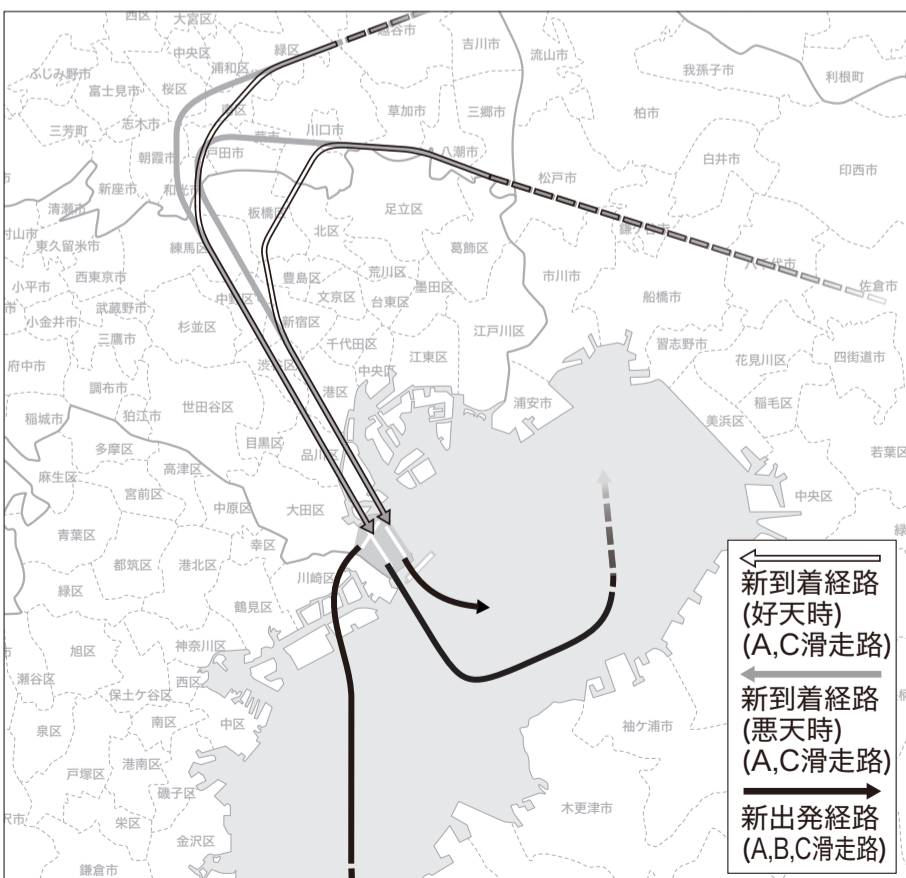


それ以外の時間帯（現行と同じ飛行経路）

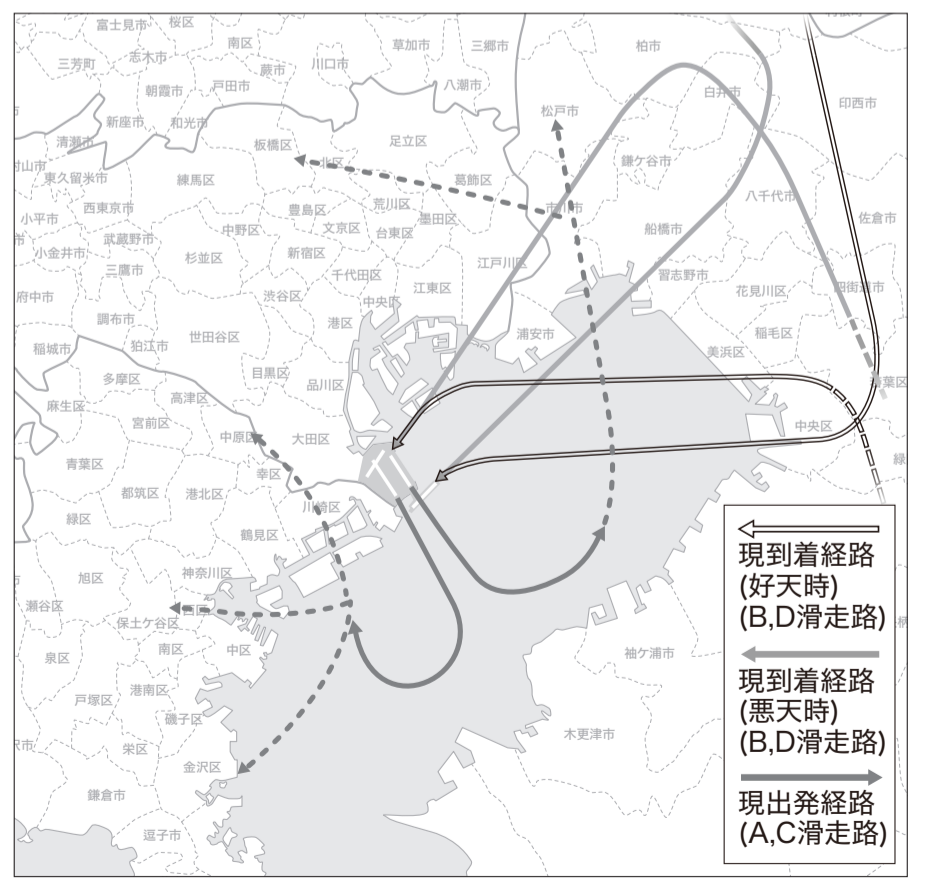


南風時（深夜・早朝時間帯以外） 運用の割合は約4割（年間平均）

15～19時（新たな飛行経路）



それ以外の時間帯（現行と同じ飛行経路）



※1：経路の破線は約 6,000ft（約 1,800m）以上を想定。
 ※2：15～19時については、4時間のうち実質3時間程度の運用。



フェーズ4の説明会が開催されました



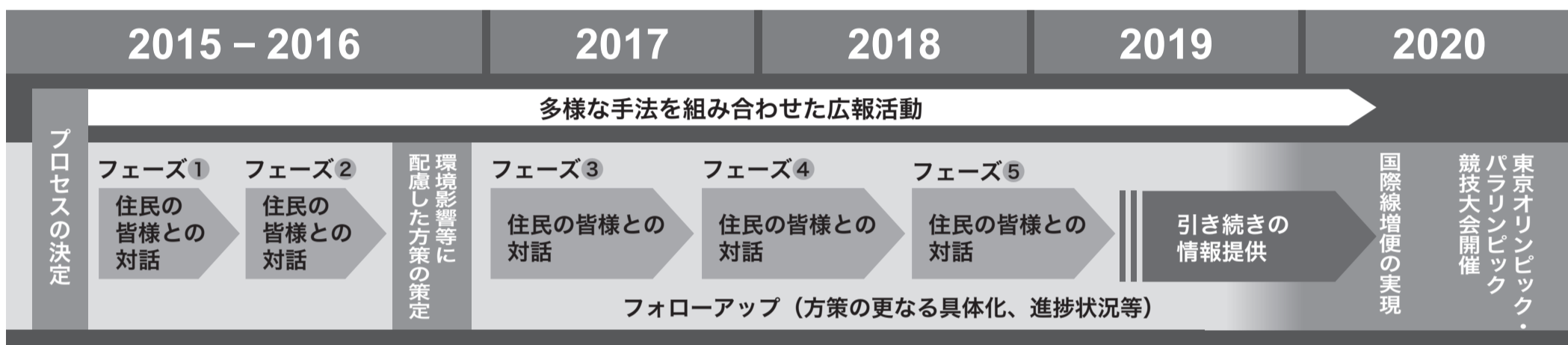
「羽田空港のこれから」のフェーズ4の取り組みとして、2017年11月から2018年2月までの間、首都圏16会場で説明会が開催されました。会場には、航空機の音や見え方を確認できる体験コーナーを設置。参加した皆さまからは、騒音や落下物への配慮や具体的な対策を求めるとともに、羽田空港の利便性向上に期待する声も寄せられました。フェーズ4で寄せられた意見要旨(案)の全容は、本ニュースレターの綴じ込みページをご参照ください。

説明会で寄せられた主なご意見

- 住宅地やオフィス街を飛行するので、騒音影響が心配だ。
- 住環境が悪化することで不動産の価値が下がったり、入居者が減少することを懸念している。
- 羽田空港の機能を強化し、国際線を増便することに期待する。
- 落下物対策をしっかりと行ってほしい。
- 今回の提案について、もっと多くの人に周知すべきである。

これまでと今後の進め方

今後も2020年までの新飛行経路運航開始までの間、住民説明会の開催等を通じて丁寧な情報提供が行われます。



フェーズ1 必要性や実現方策等

国際線増便の必要性や実現方策について情報を提供。皆さまの声から課題を整理し共有しました。

フェーズ2 対策や運用方法等

環境・安全対策、飛行経路の運用方法等、皆さまのご意見を伺いながら、「環境影響等に配慮した方策」が検討されました。

フェーズ3・4 「環境影響に配慮した方策」等

機能強化の必要性、実現方策等に加え、「環境影響に配慮した方策」について、丁寧な情報提供を行い、住民の皆さまのご意見を伺いました。



フェーズ5 寄せられた関心事・疑問に対する説明等

引き続き、機能強化の必要性、実現方策等に加え、皆さまから寄せられた知りたいこと、疑問に思っていることについて、お答えする場が設けられる予定です。

様々な方法で情報提供が行われています



■ ホームページから

<http://www.mlit.go.jp/koku/haneda/>

羽田空港のこれから

検索



ご意見フォームから直接投稿できます。



■ 情報発信拠点から

羽田空港第1ターミナルで、常設の情報発信拠点が開設されています。また、各地でも移動型情報発信拠点の展示が行われています。



■ 電話でのご意見は

Tel 0570-001-160

(IP電話からは、03-5908-2420)

【国土交通省「羽田空港のこれから」に関するご意見窓口】

受付時間：平日9:30～19:00

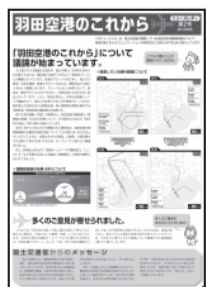


■ ホームページに掲載されているバックナンバー

※パンフレット、FAQ、パネル等もホームページに掲載されています



ニュースレター 創刊号



ニュースレター 第2号



ニュースレター 第3号



ニュースレター 第4号



ニュースレター 第5号



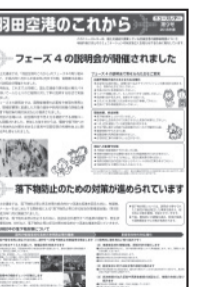
ニュースレター 第6号



ニュースレター 第7号



ニュースレター 第8号



ニュースレター 第9号